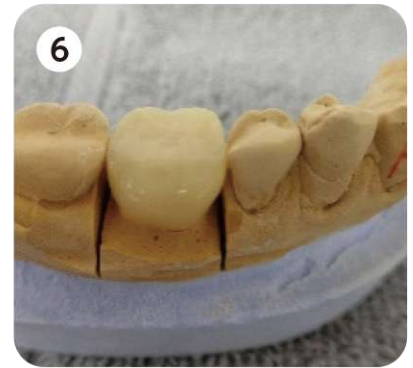




設計が完成したら歯科用ミリングマシンでレジンブロックを切削していきます。



出来上がったクラウンをきれいに研磨していきます。



模型に戻し接触状態、噛み合わせの高さ・形を調整して出来上がります。

どちらを作製するのにも様々な工程を経ています。

被覆冠(かぶせ物)は、とても小さなものですが、患者様へ完全オーダーメイドの人工臓器として、適合良く、噛み合わせの良いものを提供できるようこれからも努力していきます。

数年前に歯科用顕微鏡を購入しました。脳外科の手術などでお医者さんが使っている姿はテレビで見たことがあるけれど、歯科治療に?と思われる方もいらっしゃるでしょう。

藤崎歯科で導入したものは主に根管治療に用いています。被せものを作る際に歯を削る時や、歯周病の治療にも最適です。

使い方に慣れるまでなかなか大変で、講習会に行きいろいろなトレーニングを受けました。根管の中を根っここの先まで見るので治療に応用し、成果が得られるようになってきました。今後は、顕微鏡で見た画像を患者様やほかのスタッフにも見せられるようにし、顕微鏡を用いて治療に使用する器具の充実を図りたいと思います。

歯科の世界ではオタクになることが良しとされるような気がします。その道に長けて詳しい知識を持って楽しめるということは、治療を極めるのに重要だと私は思います。

患者様のために行う顕微鏡治療が、苦痛になっては本末転倒なのでこれからも精進して短時間で治療が終わるように努力をしますが、オタクの入り口に立ってしまったようで今では顕微鏡を覗いていることが楽しくて仕方がないのです。

日々、新しい機械が開発される歯科業界で遅れることなく良い意味でのオタクになれるように研鑽を重ねていきたいです。

院長 藤崎 玲奈